

## 総合的な学習の集大成

### 豊浦中学校総合プレゼンテーション

12月21日、豊浦中学校で総合学習のプレゼンテーションが行われました。

1年生はグループホームぬく杜の郷・しおさいを訪問し「福祉体験」を、2年生は町内9カ所の事業所で「職業体験」を行い自分たちが実際に目で見て触れて感じたことを発表していました。

3年生は「ふるさと学習」と題し、「豊浦食文化コース」「スポーツコース」「ものづくりコース」の3コースに分かれ、町内飲食店のグルメマップ作成、MKTバレーの本格的な取り組み、町のイベントに使えるようにとベンチを作成したことなどを、実践を交え発表していました。



▲各班ごとに、総合学習のまとめの発表

## サッカーで体力づくり

### 大岸小学校 コンサドーレスタッフのコーチ指導



▲コーンの間をドリブルで通る練習をする児童

1月20日、北海道教育委員会の体力向上パートナーシップ形成事業の一環で、大岸小学校にコンサドーレ北海道スポーツクラブジュニアサッカースクールマスターの清原辰也さんが来校し、サッカーを通して児童8名が体力向上に取り組みました。

ドリブル練習では「ボールが体から離れないように優しく蹴って」と清原さんの指導があり、ミニゲームでは指導通りの動きを見せるとともに楽しそうにボールを蹴る児童の姿がありました。

工藤奈々美さん（5年）は「サッカーが好きになった」と笑顔で話してくれました。

## 連続講座2017「パーマカルチャー入門」

1月15日、中央公民館にて地域おこし協力隊の大橋三千雄さんが講師を務めるパーマカルチャー連続講座2017が行われました。

一級建築士またパーマカルチャーデザイナーである大橋さんから、パーマカルチャーとは環境、人に配慮した循環型で恒久的持続可能な環境を作り出すためのデザイン体系であると実際の事例を交え説明がありました。



▲講座には70名が参加しました



▲烏骨鶏を大切に育てている大橋さん

また、パーマカルチャーの一つとして「チキンプロジェクト」と題し、5羽の烏骨鶏を育てています。自分の食から出される生ごみを烏骨鶏のエサとして与え、卵が産まれると自分の食卓に並べ、烏骨鶏のふんを畑の肥料として、循環型である生活を目指し仲間と活動しています。